



鳳鳴愛

母校に思いを寄せること

篠山鳳鳴同窓会長

中西 薫(高30回)

篠山鳳鳴同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと存じ、心よりお慶び申し上げます。また、平素より同窓会活動にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

本校は、明治9(1876)年に建学された県内で最も歴史ある公立高校として今日に至っています。そして、この春に入學いたしました第79回生が3年生となる令和8(2026)年に、創立150周年を迎えることとなります。学校三役、同窓会三役にて協議してまいりました「学校創立150周年記念式典」及び150周年記念「鳳鳴のつどい」を、令和8(2026)年11月14日(土)と定め、先般の代議員会にて発表させていただきました。具体的な内容につきましては準備会、さらに実行委員会を設立して検討し、「同窓会ホームページ」や「同窓会報」を通じてご報告させていただきたいと思ひます。在校生とともに多くの同窓生にご参加いただき、大きな節目を祝うことができると祈念しています。

さて、私が同窓会長に就任させていただき2年が経過いたしました。その間、1000人近い同窓生の方々にお出合ひし、お話をさせていただきました。皆様から頂戴した言葉のいずれにも、ある思いが込められていました。それは、母校に寄せる深い感情であり、「鳳鳴愛」にほかならないのです。高校で過ごす3年間は人生にとって短い期間ですが、恩師や同級生の姿は卒業後も常に心の内側にあり、何十年経っても鳳鳴高校に育てられている、という世代を超えた熱い思いです。

これこそが、母校の積み重ねてきた伝統の力であり、誇りなのだと私は感じています。

最後になりましたが、本年度から、校長を中心とした教育現場の先生方のご努力により、県内4校の一つとして認定を受けて単位制の「STEAM探究科」が設置され、先端技術を組み入れた教科横断的な学習を行う最新制度が導入されました。さらに来年度には普通科も単位制になるべく、学生、PTA、保護者の方々も一丸となって学校改革を進められています。同窓会といたしましても、全面的に学校の取り組みを応援し、母校の発展に寄与してまいりたいと考えています。どうか、皆様ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

篠山鳳鳴高等学校長

樋口 一哉(高36回)



篠山鳳鳴同窓会のみなさまには、本校の教育活動の推進にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

篠山鳳鳴高等学校長として3年目を迎えました樋口一哉です。新1年生が3年生になる秋に150年の周年行事を開催する計画をしております。その歴史と伝統の重みを感じ、この令和の時代に求められる学校を意識しながら務めてまいります。

今世の中は様々な改革が求められており、教育の分野も同様です。「主体的、対話的で深い学びの実現」「個別最適な学び」「協働的な学び」「教科横断的な学び」「文理融合」など、社会の変化に対応できる人材を育てる学校現場に求められることは計り知れません。そのような中、本校は今年度STEAM探究科を開設しました。「STEAMとは何か?」、それは単に理科、数学、芸術などを意味するものではありません。また、職業高校で行われているような産業、テクノロジーに直接関わる学びでもありません。世の中が便利になりすぎて「考える」「主体的に動く」機会が少なくなっている子どもたちに探究の手法のヒントを与えてくれる取り組みなのです。

スーパーマーケットやコンビニエンスストアで何とかバーコード決済ができることで満足している私以上に、子どもたちにはもっとSociety 5.0を探究してもらいたいと考えています。新学科が提供しようとしている授業は、学校全体にも様々な提案をしてくれるはずです。さらに、各教科の授業の大切さを実感して、学習に対するさらなる動機付けになれば言うことありません。

本校は県立学校です。兵庫県や国の支援をいただきながら、未来に子どもを送り出す学校に何が求められて、何をしていくのか県教委と連携しながら進めているところです。以下に最近の事業、予定事業を紹介します。

- ・国事業 普通科改革支援事業(R5～R7)
- ・県事業 STEAM探究科(単位制)開設(R6)
- ・国事業 高等学校DX加速化推進事業(R6)
- ・県事業 長寿化改修事業(R7～R8) 校舎全面塗替、空調・トイレ改修等
- ・1年生全クラス 年次進行で単位制に移行(R7)

本校のような伝統校だからこそ同窓生の協力が何よりも心強いです。新しい時代に向けて、生徒たちの高校生活がさらに有意義なものとなりますよう、教育活動に取組んでいきます。同窓会のみなさまにおかれましても、今後とも本校教育へのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

関東支部

関東支部つどいの開催について

事務局次長
堀口敦実(高32)

爽やかな秋晴れの令和5年10月22日(日)、ご鎮座960年を奉祝の杉並区の大宮八幡宮清涼殿で関東支部のつどいを開催いたしました。コロナ禍で延期しておりましたが実に4年ぶりの開催です。

来賓は、丹波篠山市長 酒井隆明様、篠山同窓会会長 中西薫様、篠山鳳鳴高等学校長 樋口一哉様、阪神支部長 永井哲郎様、洛鳳会代表幹事 松浦昌宏様、東京鳳鳴会長 佐藤茂樹様・幹事高坂千穂様、兵庫県人会東京事務局長 今後元彦様・幹事 平谷英明様となり、各位からご挨拶と近況報告。更に特別ゲストの阪急交通社代表取締役社長の酒井淳様より話題豊富なスピーチで盛会となり、久しぶりにわが郷土の皆様との懇親を深めることができ楽しい有意義な集いとなりました。

関東支部は、東京・神奈川・埼玉・千葉等の首都圏に在住の篠山鳳鳴高校等OBの皆さんの組織です。登録制での会員となります(年会費無料)ので、登録ご希望の方は下記まで連絡下さい。

(連絡先) 関東支部事務局 堀口敦実

atsumi.horiguchi@outlook.jp



丹波市支部のページは、同窓生の紹介です。鳳鳴高校の32回生(1980年卒)で、農業資材の製造販売を手がける「たつた農材」(丹波市山南町岩屋)の社長、塚口徹さんです。

2011年に母の実家で操業し、13年目になる。高校卒業後、甲南大学を経て短資会社日短A P「現・セントラル短資」(本社・東京)に入社、15年勤務のあとUターン。農業資材を扱う会社でノウハウを取得して独立した。

主力製品は、ブドウ栽培の雨除けポリテント(ブドウ棚のシート)。ビニールハウスの設計施工なども手がける。「農薬や肥料以外なら何でもありますよ」とPRする。県内JAや農家などの依頼を受け、資材の納入、設置を行っている。丹波市や丹波篠山市内にも得意先は多い。ビニールを裁断機や溶着機を使って納入先の求めるサイズに裁断、接着し、製品化する。「相手によって、希望するサイズが違うので、間違わないように細心の注意を払う」という。農家の高齢化により、廃業する人が増え、経営にも影響する。「でも、風でビニールハウスが倒れた、早く直してという声を受け、現場に急ぐ時、やりがいを感じますね。役立っているなら頑張らんと」と自分に言い聞かせる。

仕事の息抜きは、バンド活動。高校時代の仲間5人で活動する「theチャンポラパンbando」で、ベースを担当する。丹波篠山市や丹波市のイベントにも出演して座を盛り上げている。混声合唱団「メイプル」にも所属。「高校時代は合唱部でしたが、軽音楽部にも出入りしていたことが縁で、仲間とバンドを再結成。同級生とも息長くつきあえるのも音楽のおかげ」とほほ笑む。妻の井公子(いくこ)さんは、篠山かるた協会所属の競技かるた5段の腕前。

丹波市支部

たつた農材社長 塚口徹さん

臼井 学(高25回)



▲農業資材を扱う
たつた農材社長の
塚口徹さん
(丹波市山南町岩屋で)



▲同級生とバンド活動をする塚口さん(左端)

おまかせ
ください!!

資源ごみ
買い取りなら

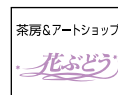


ちょっと
待って!
捨てないで!!

各種鋼材販売 鉄筋工事 廃棄物収集運搬 株式会社 **コミナミ** 丹波篠山市南新町218 ●定休日/土・日・祝日
TEL(079)552-5373 FAX(079)552-1920 受付時間/8:00~17:00

丹波ささやま **ホロンピアホテル**

兵庫県丹波篠山市中野76-4 FAX(079)594-2612
☎(079)594-2611(代) http://www.holonpia.com



洛鳳会

洛鳳会の活動報告

代表幹事
松浦昌宏(高30回)

洛鳳会は、京都や滋賀にお仕事やお住いの拠点を持たれている方々が集う会です。現在は、西垣吉春さん(高17回)を会長として活動を行っています。

一つ目のご報告は、2023年9月9日(土)(重陽の節句)午前11時から京都河原町の東華菜館にて洛鳳会総会(創設68周年・22回)を開催し、約50名の会員の方が出席されました。来賓の方々のご挨拶の後、京都大学大学院人間・環境学研究科教授・細見和之先生により、『生きる糧となる言葉を求めて』—大阪文学学校校長として—の演題で講演をしていただきました。その後、懇親会となり、円卓を囲んで皆さん、和気あいあいとした会となりました。終了後、三々五々に二次会に行かれた方や近くの漢字ミュージアムに行かれた方もあったようです。

二つ目のご報告は、先日(2024年4月6日お昼)、お花見会と称して有志による交流会を開催しました。例年は新年会を開催しているのですが、事務局の都合もあり4月のお花見会としました。今年は桜の開花が遅れたことも幸いし、当日はまさしく花見日和で満開でした。宴は伏見の月の蔵人で行い、参加人数は少なかったですが、楽しい会となりました。

今後も皆様に喜んでいただけるような活動を続けてまいりますので、是非とも忌憚のないご意見やご協力・ご支援を賜りますようお願いいたします。



▲ 洛鳳会総会



お花見会▶

6月2日(日)、同窓会の先陣を切って、阪神支部の第23回大会が開催された。会場は、JR大阪駅直結のホテルグランヴィア大阪20階に、130名が集結。

まずは、黙とうから始まり、支部長から歓迎の挨拶、そして、同窓会会長中西薫(高30回)さんは、再来年150周年を迎え、11月14日に記念式典を行うので、予定を空けてほしいとの依頼、校長の樋口一哉(高36回)さんから、本年から始めたSTEAM探求科について、理系・文系の垣根をなくし、課題探求に特化したこの探求科は、先端技術を活用し、企業や地域社会とも連携し、身近な課題を解決、新たな価値を創造する学科となると説明、酒井隆明市長(高25回)からは、市名の変更から5年、観光客は増え、福住地区では移住者も多く、市の人口も増加、さらに、来年は丹波篠山国際博を行うと発表された。

会計報告と監査報告があり、拍手で承認。

記念講演会は元立命館大学文学部教授の中西健治さん(高18回)が、源氏物語について話され、道長や



紫式部から始まり、光る君へは君を「ぎみ」と読んだり、光らない君は誰

だろうかと思ってもない切り口の話が続いた。

懇親会の前に、高16回の高家正和さんが機関誌「郷友」の現状と会員募集の訴えあり。

鳳鳴中59回の余田和雄さんが、御年97歳とは思えない、思いのたけを述べ、参加者の健康を祈念して声高らかに乾杯の音頭を取られた。

懇親会では、高15回の高見信夫さんからふるさと納税のPR、その後、大学生2名登壇、高75回の大阪公立大学2年生の倉垣遼佳さんと野垣梓美さん、倉垣さんは福祉関係の仕事、野垣さんは役所希望と語った。ファンキー黒豆兄弟(高32回)石塚俊幸さんと酒井重朗さんが「さらば青春」「上を向いて歩こう」「帰るところ」の3曲を披露、拍手喝さい。

その後は、市議会議員に当選された高30回の野々村康さん、同窓会副支部長の高32回井関由里子さん、高43回の榊原謙介さんの紹介もあり、最後は、高25回の明山修さん先導での校歌斉唱で、大いに盛り上がった。

再来年2026年6月の第24回大会での再会を約して散会となる。

阪神支部

第23回大会盛大に開催!

支部長
永井哲郎(高19回)



活魚刺身



宝魚園

- 昼膳各種 ● 会席料理
- ふぐ料理 ● ぼたん鍋
- 冠婚葬祭・お座敷・仕出し料理

〒669-2725

兵庫県丹波篠山市川北新田52

TEL 079-593-1341 URL <http://hougyoen.com>

舞鶴若狹道 丹波篠山ICより車で5分
JR福知山線 篠山駅より車で7分

「第46回生卒業30年のつどい」を開催

中川昌之・小立理恵(高46回)

諸先輩方から脈々と受け継がれてきた「卒業30年のつどい」。令和6(2024)年は、平成6(1994)年3月卒業の私たち第46回生がそのバトンを引き継ぎ、令和6年1月2日、ユニトピアささやまにて卒業30年のつどいを開催しました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延中は、大勢が集うこのような会がなかなか開催できない状況でしたが、感染状況が落ち着いてきたため、当日は5名の恩師の先生のご臨席、105名という多くの仲間の参加がありました。このつどいを通じて、久方ぶりに懐かしい仲間や恩師との再会を果たすとともに、クラスを超えたご縁と絆を深める場となり、非常に有意義な1日となりました。

昨今、LINEなどのSNSを通じて容易に連絡が取りあえる時代となりましたので、この卒業30年のつどいをきっかけとして、今回再会で

なかった仲間も含めてSNSで呼びかけるなどしながら、数年後にはもう一度集まる機会を設け、第46回生のつながりを一層深めたいと考えております。

後になりますが、卒業30年のつどいを開催するにあたり、準備万端整えてくださいましたすべての関係者の皆様、本当にありがとうございました。



卒業53周年 全クラス 同窓会

谷本隆一(高22回)

3年前、卒業50周年同窓会を計画していましたが、コロナ禍で開催することができませんでした。令和5年度になって53周年同窓会を、卒業生334名のうち86名の参加を得て開催することができました。53年ぶりに会う同窓生と話が合うのか心配していましたが、会った瞬間高校時代の面影となつかしさがこみ上げ、そんな懸念が吹き飛んでしまいました。

最初に、池横の芝生で記念撮影を行いました。全員がにこやかに映っていて安堵しました。会場に入って、全員で物故者41名への黙祷、校歌の斉唱を行いました。旧友との再会の高揚感のなかでの乾杯、そして、おやじバンド有志の演奏が始まりました。「高校三年生」、「ブルーシャトー」などのバンド演奏者はプロを含む高校22回生メンバーとのこと、感動しました。

その後、篠山鳳鳴140周年記念CDと卒業アルバムが校歌とともにスクリーンに流れる中、恩師小林秀郎先生の「文学作品」研究成果のご披露、司会者の流ちょうなリードのもと旧友との絆を深めました。

本当になつかしい時間を過ごすことができました。これを機に、丹波篠山の元気と笑顔が増えたらと願っています。



▲ ユニトピアささやま 池横芝生での集合写真

“絆”は永遠に!!

『鳳鳴2934』クラス会開催

服部玉記(高29回)

コロナ禍規制明けの令和5年5月20日、丹波篠山市内「山里料理『まえ川』」において、高校第29回生3年4組の卒業生22名が卒業後46年の年月を経て集まりました。当日は、担任をしていただいた恩師岡本光弘先生には遠路淡路

からご出席を賜った他、先担任の近成先生には「フォトレター」での出席と先生作の絵はがきを全員にプレゼントしていただきました。

高校当時の体育祭や文化祭等楽しかった思い出話に花が咲き、「アッ!」という囁きの一時でした。多感で青春真っ盛りの2年間に共に過ごした「同窓生の絆」は46年という歳月にも流されることなく当時のままで、これから先も変わらぬことを確認し合いました。最後は恩師を囲んで校歌を全員で合唱、次回は母校の創立150周年を祝い「卒業50周年『鳳鳴2934』クラス会」での再会を約束して散会しました。

また、クラスの連絡網兼情報共有のテーブルとして『鳳鳴2934』を設けて情報交換を行うこととし、兵庫県内はもちろん全国から様々な情報が寄せられており、今後も同窓生の“絆”は益々深まると考えています。

なお、当日参加者から募った「同窓会活動協力金」は、篠山鳳鳴同窓会事務局に届けました。母校の発展を祈念いたします。



第15回「鳳鳴のつどい」に出席して

余田和雄(鳳中59回)



コロナ問題にあたり難しい大人数の総会を見事に手ぎわよく開催され無事終了しました事、参加者の一人として心から感謝申上げ、併せて世話人の皆様のご高配に厚く御礼申し上げます。

実は私儀(鳳中59)は昭和14年4月の入学であり当時から満州事変・支那事変と少しずつ戦時体制に移行しつつありましたが「鳳鳴中学内部」には一定の余裕をもった教育方針があったように思います。やはり青山公以来の「忠君愛国」「勤倭尚武」の武士道精神が教育のベースにあり、すべての教官も心得ておられた賜と思えます。更に上級生の下級生指導も「厳しさの中に優しさを感じさせる」ようで意外に楽し

い学校の雰囲気だったようです。

私の記憶に鮮やかなのは

①校歌の中のフレーズ

「国と家とを守るべき 柱とならむ我ついに」

であります。(どのようにして「柱とならうか」が問題ですが)

②デカンショで「花のお江戸で芝居する」は篠山の看板です。

私の陸士時代もこのデカンショだけは、私が一人で歌いました。

更に替え歌で

「俺が死んだら三途の川でヨー 鬼を集めて^{すもう}角力とらす」を皆で歌ったものです。

これは鳳鳴又は篠山の特許にして頂きたい。要するに

●青山忠誠公の遺徳は常に顕彰しよう

●デカンショは 花のお江戸に代り世界・地球・宇宙に広げよう

卒業60年 喜寿77歳 元気に73人集まりました！

吉村(松山)万里子(高16回)

私達が生まれたのは戦中・戦後の昭和20年21年。社会が混乱した時で、人数が少なく、入試では、ほとんど入学



できました。1964年3年の時は東京オリンピックで、日本が世界に「日本ここにあり!」と言わんばかりの勢いでした。デカンショ祭は篠山川原であり、郡家には篠山連隊があり、その後兵庫農科大学があり、我が家にも何人も学生が下宿していました。明治18年頃私の祖父は氷上から鳳鳴義塾に入り、卒業を待たずに陸軍士官学校に合格し、東京に行き

ました。青山藩主のお陰で東京に尚志館があり、多くの方が東京で勉強できたこと、すごいと思います。大相撲の地方巡業で横綱やたくさんの力士が来て、50ほどの力士の旗が立ち並び壮観でした。

お城で体育祭の応援の練習をし、運動部の人はお城の周りを走り、いつもお城と一緒に生活していました。

卒業60年になりましたが、皆元気でおしゃべりは止まりません。楽しい一日でした。鳳鳴高校が学力、体力共に向上することを心から願っております。

高35回生、あなたのそばに 安全・安心

井関雅浩・小山覚之・大西孝男・大垣博資(高35回)

「鳳消会」第35回卒業の同級生5人が消防士になったことで作った親睦会が、今では同窓の後輩職員が加わり50名余り、兵庫県下を問わず他府県でも活躍しています。「体力に自信あり、地元で公務員」と少し安易な気持ちでしたが、36年間同僚、地域の方々、家族に支えられ今は感謝の気持ちしかありません。特に4人の同級生の存在が励みになり、地域は違えど気持ちの通じる仲間で本当に心強いです。地元である丹波篠山市消防本部で篠山鳳鳴高校の卒業生として誇りをもち、安全・安心なまちづくりのために最善を尽くします。【火の用心・救急車の適正利用】

井関雅浩(丹波篠山市消防長)

高校卒業時、一色先生から「上司から仕事を頼まれる人に成りなさい。」との言葉をいただき、その意味も解らないまま消防吏員となって早41年が過ぎました。仕事を「頼まれる」から「任される」となり、今では「任せる」側となりましたが、振り返ると尼崎市に何の所縁もない私を受け入れ、育ててくれた消防組織と上司、同僚そして家族の支えに感謝しています。また、同学年5人が同じ消防職ということも大きな励みとなっています。定年延長でゴールが少し遠退きましたが、これからも安全・安心なまちづくりのため、一以貫の気持ちを忘れず勤しんでまいります。

小山覚之(尼崎市消防局長)

「質実剛健」

私が篠山鳳鳴高校で学んで、消防士を志してから今まで大切にしてきた言葉です。「飾り気なく、素直で力強い人間でありたい」という言葉を大切に消防生活を送ってます。奇しくも同じ高校出身の同じ学びを受けた同級生4人が市は違えど消防長、県警の総務部長として市民を守る仕事をしていることは大変名誉な事です。伝統と歴史ある篠山鳳鳴高校でお世話になった方々に感謝しつつ、これからも更に大きく飛躍していきます。

大西孝男(三田市消防長)

私は高校を卒業して警察官になりました。つい先日60歳を迎えたところです。自らの歩みを顧みると暴力団対立抗争の警戒や阪神・淡路大震災の災害警備、阪神タイガース優勝パレード警戒や要人警護など様々な経験をしたほか、兵庫県警察以外に警察庁や近畿管区警察局において勤務する機会も得ました。警察の業務は多岐にわたります。

さて、警察官採用試験の受験資格は35歳未満です。学歴は勿論、新卒者や社会人経験者を問いません。採用後は努力次第で昇進もあります。同窓生の皆さん、県民の安全と安心を確保する警察の仕事はいかがですか？

大垣博資(兵庫県警察本部)



尼崎市消防局長 小山覚之 三田市消防長 大西孝男 兵庫県警察本部総務部長 大垣博資 丹波篠山市消防長 井関雅浩

まさか私たちが古希を迎えるような年に!

小林忠一(高25回)

4月28日(日)正午より、95名の仲間たちと共に、ユニットピアささやまにて第25回卒業生同級会を開催しました。

朝、目を覚ますと驚くような好天に。水が張られた田んぼには空の青・山々の緑、そして民家が映し出され、遠方から故郷に來られた皆さんへの最高のプレゼント。

会場大スクリーンには篠山の四季・入学式の集合写真・臨海学校・修学旅行・各部活動・体育祭などを投影。あちこちから、「こんなクラブあったの」「どんな活動してたの」「恥ずかしい」とワイワイガヤガヤ、大盛り上がり。



また地元の名産が当たるゲーム大会の最後にはじゃんけんで景品の奪い合い、ステージではギターの演奏にあわせ高校時代の懐かしい歌を。少しずつ大声になり、校歌斉唱です。式典のように全員が起立し、前を向いて声を張り上げ熱唱、心が震える感動の一時でした。

二次会には50名が参加、一人ひとりの思い出を披露し時間がたつのも忘れた一日でした。次回4年後の同級会参加を目標に自分たちの体調管理をすることを誓い、散会しました。

同期の桜

栗野正美(高9回)

令和6年1月に入って、同級生の皆様からの要望があったようやく同期会の開催準備を進めることになりました。開催日を令和6年4月3日(水)に場所は「ユニットピアささやま」で、満開の桜を期待してのことでした。寒さが長引き見事にその期待は外れてしまいました。

兵庫県立篠山鳳鳴高等学校を昭和32年3月(9回生)に卒業させていただき、以来67年という歳月が流れていました。それぞれの同期の皆様がそれぞれの志しをもって、それぞれの人生を歩んできました。その足跡は違っていても、同期生の絆は何年たっても同じです。交流が深まれば深まるほど繋がり太く、深くなります。これが「同期の桜」の素晴らしいところであると思います。

「最後の同期会」とあって46名の多数の皆様の参加を頂き盛大に開催する事が出来ました。みんなで校歌を歌い、



そして、「同期の桜」を合唱するなど、宴会が進むにつれて盛り上がりを見せ、あっという間の2時間半でした。

お互いに元気を頂けた思い出が心の中でまた一つ増やせることが出来ました。

残り少ない人生ですが、強く、しぶとく、しなやかに、そして、元気に楽しい毎日が過ごすことが出来ますように誓い合って、少し心魅かれるお別れとなりました。

20歳の同窓会

大木幹己(高74回)

この度私たち74回生は、成人するにあたり「20歳のお祝い同窓会支援事業」のサポートを受け、令和6年1月6日にユニットピアささやまにて同窓会を開催しました。

はたちのつどいの前日で忙しいにもかかわらず多くの同級生が参加してくれました。

また、学年の先生方が揃って来てくださり、お一人ずつから有難いお言葉をいただきました。まだコロナ禍が続いていましたが、5類に引き下げられたこともあり20歳を迎えた年にこうして沢山の同級生が集まったことを大変嬉しく思います。

同窓会当日では、2時間という短い時間ではありましたが、卒業式以来会っていなかった仲間と話をしたり、先生方へ学生時代お世話になった感謝の気持ちを伝えたりすることができ、非常に有意義な時間となりました。

また、同窓会は代表2人で進めていた為運営がスムーズに行くか不安でしたが、受付時など様々な場面でたくさんの方々が協力して動いてくれてとても助かりました。協力してくれた人がいたから今回の会が良いものになったのだと思います。

74回生の皆さんと出会い、かけがえのない仲間を見つけたこと、そして篠山鳳鳴高校を卒業したことを誇りに思います!同窓会に来てくださり有難うございました!また皆さんと会えることを楽しみにしています!!!



ありがとうございました 卒業生から寄贈を受けました

●陸上競技部横断幕 陸上部卒業生有志



●書棚 高7回生 井関道夫様
●書籍 高7回生 藤田一道様



●サッカーゴール 高27回生 石川泰彦様

●父方の波多野家、家系図を見ると応仁の乱で戦攻を挙げた波多野清秀が丹波篠山の高城山(別名丹波富士)に築城、居城した事から八上城の歴史が始まる。その後、元清、波多野秀治、等が続き、県下41番目の史跡になっている。60年振りに高城山に登りふるとの景色を眺めたい。

高13 明山嘉佑(西宮市)
●当日のご盛会を祈念致します。

高27 西尾嘉文(丹波篠山市)
●兄弟姉妹7人がお世話になりました。残るは姉(辻きぬ子、103才)と96才の私だけです。鳳鳴中59回生も残るは数名。「ひびき世に満つ篠山の」と変(ペン)声を張りあげた昔がつかしい。

中59 竹内静夫(神戸市)
●数年前に軽い気持ちではじめた俳句、季語の難しさに悩まされながら続けています。良い先生の指導のもと頑張っています。クラス会一回延々と続けています。

高9 畑美智子(丹波篠山市)
●病気も治り、元気に過ごしています。

高15 小林俊治(堺市)
●なつかしい鳳鳴のつどいありがとうございます。益々の発展祈ります。

匿名
●同級生には「同級生」という「縁」があるようで、若い時代の同級生というものは一生の宝物だと三回目の成人式近くと痛感します。

高35 本山尚己(丹波篠山市)
●免許証返納して早や3年。丹波篠山大好きでしたが、電車で行く様になると随分、出掛ける回数が減りました。街中散歩だけで本当に不便を感じます。久しぶりの同窓会開催とても嬉しく存じます。

高7 原千津子(西宮市)
●久しぶりの「つどい」お世話になります。いつも細やかなお世話をありがとうございます。別件ですが、同窓会報の配布は家庭数で良いのではありませんか、という意見を聞きました。同じ家庭なので一通でよい方を調査して(又は自己申し出)していたら対応できるのではないのでしょうか。

高19 藤田加代(京都市)
●一年生では唯一男女共学クラスで全員が進学を目ざしており、卒業まで多くの時間を勉強に費やし、互いに競い合った事が、関東でも高校時の思い出に花を咲かせた同級会を長年続けられた理由で有ったかも知れない。高7 畑中正治(茅ヶ崎市)
●4月から、今話題のマイナンバー担当になった。日々、国や県の動きとにらめっこ生活。県内で教員不足の話が出ているが、鳳鳴は大丈夫だろうか。R6年1月には高46回の30年がある。ご協力を。

高46 中川昌之(丹波篠山市)
●井の中の蛙、お山の大将じゃ駄目!日本は広い、世界はもっと広い。池の鯉より太平洋の鯨になろう!

高19 倉 義己(神戸市)
●いま、全国の100万都市以上の公立高校は、少子化により軒並み定員割れを起こしています。篠山の場合は、それに加えて学区の拡大化によるところが大きいと思われます。もはや、鳳鳴の現教職員の方々や在校生に「頑張れ」というだけでは限界にきています。入学希望者が増えないことには何も始まりません。そこで、阪神間以北、特に三田あたりにお住まいのOB、OGの方々をお願いしたいと思います。「祖父母や父母の皆さん、あの素晴らしい鳳鳴高校へ進学しなさい」と、勧めていただきたい。OB、OGの総力を結集して、母校を盛り立てるべきだと思います。

高21 竹内壽一(横浜市)
●同窓会「鳳鳴のつどい」の御連絡を拝受し有難く深く感謝申し上げます。東京の大学(現東京都市大学)を卒業後日本火災海上を経て、名古屋の三菱重工業(後の三菱自動車工業)に就職し勤務地であった岡崎市に現住所の居を構え3人(男1 女2)の子供に恵まれお陰様で現在も健康にて暮らしております。大会には参加できませんが、会員の皆様の御健康と御幸福を心からお祈り申し上げます。

高7 貫井興治(岡崎市)
●滋賀県に住いて40年になります。宮崎県、静岡県、滋賀県と3県を2~3回勤務しました。現在は(リタイア後)環境関係のNPO法人で、行政、企業、協会の環境保全活動を支援しています。貴会の隆盛を祈念致します。

高18 佐野由明(守山市)
●東京阿佐ヶ谷で元気に暮らしています。

高15 山口積恵(杉並区)
●青春とは心の若さなり。年令で云うのではあり

ません。鳳鳴精神でいつまでも青春です。鳳鳴高校の益々の発展をお祈り致しております。

高1 川口 聖(西宮市)
●昨年、結婚して50年を迎えた。夫は先にあの世へ旅立ち、二人で祝うことは出来なかったが、何か形に残るもので記念にしたいと思い、シャンソンを中心に「我が人生 愛の歌」というタイトルでCDを制作した。夫や私にご縁のある人達に貰っていただき、皆様のメッセージからは、これからも元気で生きていく力をいただいた。高17 井本信代(三田市)
●同期会がきっかけで同期の森田宏氏と60年振りに再会できました。同氏は第二の故郷、新発田で町会長として、町内に溶け込んでからはつらつと活躍されておられます。私もゴミ拾いや趣味の篠笛や習い事の太極拳で、楽しく元気に過ごして行こうと思っています。

高16 太野垣 功(新潟市)
●35回生は、来たる令和7年1月3日に、ユニビアささやまにおいて「3回目の成人式」(還暦の集い)を開催予定です。35回生の皆さん、一堂に会しましょう。

高35 小谷隆幸(丹波篠山市)
●同級生の皆さん、お元気でですか?とうとう八十路半ばを超えましたネ。

高7 畑 穰(丹波篠山市)
●随分と遅くなりましたが、同窓会の皆様にはご支援とご協力を賜りお世話になりましたこと、心から感謝を申しあげます。篠山鳳鳴同窓会のますますのご発展を願っております。

前会長(高22) 河南秀和(丹波篠山市)
●残念ながら都合悪く…(遠方)鳳鳴のつどい欠席させていただきます。集いの盛況を願っております。

高12 中山岩男(越谷市)
●ご案内いつもありがとうございます。都合が悪く出席できませんが、楽しいつどいになることを祈念致します。

高29 内藤伸彦(西宮市)
●本年4月より東京の職場に異動になりました。短期的ではありますが、東京Lifeを楽しんでいます。仕事は、産学連携を担当しており、最近ではベンチャー支援をしています。(所属は東京医科歯科大学です。)
高30 松浦昌宏(武蔵野市)
●昭和生まれ、トップランナーとして幸ひにも未だ自力で生活しております。3年前妻を亡くしましたが、公的な諸サービスに恵まれ、看護師やヘルパーさんに度々訪問頂き感謝しております。身がつかない篠山にも時々帰り、故郷の変化と発展もなを以って感じております。デカンショの精神は今では江戸では、世界である事強調したいネ!!

中59 余田和雄(大阪市)
●90才の壁、90才を迎える事の大さを意識しております。犬、猫、亀の世話もして90年近くになりました。皆様、しっかりと90才の壁が迎えられる事を祈っております。

高5 中村裕子(名古屋市)
●現在、シルバーで内外ゴルフに行つて5年を迎える。来年は引退してマスターズの陸上短距離を目指す。マラソン辞めて10年目。新しい気持ちで。

高17 井尻 努(明石市)
●昭和30年高校卒業後、電力会社に就職し神戸で4年、和歌山で39年間勤務し、退職後は自治会の役員と趣味のカラオケで楽しく余生を送っております。来年は米寿を迎える年になりました。私の母校・篠山鳳鳴高校の御繁栄を祈ります。

高7 中山義隆(和歌山市)
●「同窓会報」楽しみにしています。現役生徒の運動会の写真を見て、私たちは袴に下駄姿で「お富さん」をクラス全員で合唱し応援したことを思い出します。

高8 井関 治(さいたま市)
●同窓会の御案内等を送付して戴くと、参加させて戴きたいと思うのですが、全ての御案内に参加させて戴けない事を残念に感じております。皆様には体調にくれぐれも気を付け日々を御過ごし下さいませ。御案内状を送付して下さいありがとうございます。まずは御礼です。

高36 篠倉元美(北村)(神戸市)
●コロナ感染禍も治まり小学校の同窓会を5年振りに開催され参加しました。遠方からの友も多数参加しました。懐かしい篠山の街並を観光しました。旧鳳鳴高校の跡地の変わり様に驚きました。観光客も多く街の賑わいに嬉しく思つた次第です。

高9 小川渥美(倉敷市)
●大東亜戦争開戦時入学。乙女の夢は遠く、1年生はのこぎりを肩にモンペ姿で山仕事。2年生~学徒

挺身隊として伊丹東洋紡へ工場勤務。爆弾、戦艦操作の戦火で再び故郷へ一同揃って帰省を夢見た日々。食物不足で大豆、どんぐりを食事に、ビタミン不足で発病するクラスメートを労りつつ、終戦を当地で迎え線路つたいで帰宅。学校生活に戻った私は友情の絆強く、命の尊さ、平和を願う最高の同窓会です。

高女33 藤木千皓(丹波篠山市)
●卒業後、行方不明の私に毎年賀状をくれたいた友人が2人。やっと同窓会に参加するタイミングをいただいたのが42才。今年62才。阪神支部の幹事の役をいただき、これまでご尽力いただいた皆様のお役に立てる様がんばります!!

高32 石塚俊幸(大阪市)
恩師との思い出
●波部初雄先生への感謝!!

高6 旭 重子(東大阪市)
●商業科卒の16回生。3年生の就職先決定時に先生より希望を聞かれたが特になく、学校へいちはん最初に求人に来た企業を希望したところ、三菱電機を受験・合格。勤務中に大卒同等試験に合格。人事・総務部内にて新工場の立上げ、会社初のサウジアラビア駐在員(他インド)として勤務。56才の役職定年後、従業員5,000名の小会社の役員経験。この間、常に心に留めていたのは鳳鳴の校訓であった。「質実剛健」でした。「飾り気がなく、まじめで心・体が強くたくましくいこと」感謝!

高16 藤井春彦(長岡京市)
●大学を出て昭和51年4月に鳳鳴に赴任され、私たち1年5組の担任をしてくださった桑野英明先生には少なからぬ影響を受けました。私はその後、県立高校の英語教師となり、県教育委員会を経て県立高校の校長で退職しましたが、今でも桑野先生の英語の授業はよく覚えています。桑野先生がしてくださるお話は、英語や外国に興味を持っていた私には大変新鮮でした。桑野先生は鳳鳴を出られたから、再度鳳鳴に勤務されたとか。その後は私学の教員となられたましたが、数年前までは、仕事で時々お会いできていました。当時とあまり変わらない印象でお若くてお元気そうでした。

高31 長澤和弥(三田市)
●高校2年と3年の担任だった細見勇太郎先生は、2年の秋ごろから朝日新聞に連載されていた北杜夫の「奇病連郎」を切り抜き、朝の点呼に配られました。内容は覚えていませんが、国語好きの私には、楽しいひと時でした。おかげで、関西の私学に合格し、後に先生と同じ道を歩みました。先生の心魂に感謝いたします。

高20 久下隆史(丹波篠山市)
●昭和42年高校2年より1本500円の竹のボールで始めた棒高跳、8月の県ジュニア大会で2位になり近畿大会への出場が決まった時に陸上部顧問の植田憲雄先生(英語)が1本4万円するグラスファイバーのボールを購入と言って生徒会担当の穂積 豊先生(体育)と協議し近畿大会に出場しました。高校3年の近畿インターハイでは4m00の県高校新記録を樹立したが7位で全国インターハイ出場(6位以下)は成らなかったが、陸上部顧問の植田憲雄先生のお陰で大変充実した部活動でした。次回につづく…

高21 利根 正(三田市)
●高校の3年間、自然現象への興味と社会への不安が混ざり合った日々を過ごした。そんな若者に程よい距離を取って接して下さった先生方には、今も感謝の念を深くしている。

高7 辻敬一郎(名古屋市)
●さて、昨年の続き。第8代校長堀毛哲夫先生のこと。先生のおかげで入社出来ました。それから、1年9ヶ月日本社に転勤は労務課長久保田淳一さんです。堀毛先生と久保田課長のおかげで私の現在があります。久保田課長は、その後甲南大学の理事長になられていた娘の就職にも大変お世話になり、親子共に人生の歩みのために助力下さいました。この事は堀毛先生のおかげで、お礼は先生に出来ませんでした。同窓会に対してお返ししたいと思つてます。先生、本当に有難うございました。鳳鳴10才です。

高9 西本治美(大阪市)
●1年藤井先生 体育祭で先生チームが生徒の中で力走。お尚さん、早い!速い!2年樋口先生 舌を口先で筒状にしたのは遺伝と云われ、家族では母が出来ず父の遺伝らしい。3年岸本先生 入学後の色覚検査、デタラメを云ったら、「見えてないやろう?」

高18 村上範子(丹波篠山市)

学校活動

高79回生

● 春の遠足・鉢伏山登山 ●

令和6年4月19日(金) 於:鉢伏山

天候にも恵まれ、無事、鉢伏山に登ることができました。登山開始直後の急斜面に弱音を吐く者が多く出ながらも、互いに声を掛け合い、参加者全員が山頂(1,221m)に立つことができました。下山後は班ごとに分かれて焼肉を食べ、親睦を深めました。高校生活のスタートに当たり、良い行事を行うことができました！



高78回生

● 春の遠足 ●

令和6年4月19日(金) 於:京都 東山周辺

少し暑いぐらいの最高の天気の中、清水寺、金剛寺、八坂神社等の名所を巡りました。班ごとに美味しいものを食べたり、お土産をいっぱい買ったり、京都を満喫！もっと時間が欲しかった、いろんな場所に行ってみたかった、という声がたくさん挙がりました。



高77回生

● 春の遠足 ●

令和6年4月19日(金) 於:USJ

高校生活最後の遠足(バス旅行)はUSJ。いくつかのアトラクションが停止していたのは残念でしたが、カチューシャをつけ、帽子をかぶり、思う存分楽しみました。お土産もたくさん買い込み、大満足で帰ってきました。



部活動の軌跡 令和5年度の活躍

鳳凰賞 個人の部

- 第69回青少年読書感想文兵庫県コンクール 兵庫県教育委員会賞 「深海にさす一筋の光」 西村和紗
- 第73回「社会を明るくする運動」高校生等エッセイコンテスト 兵庫県保護司会連合会会長賞 「地域のつながりで孤立をなくす」 山下奏乃

男子バレーボール部

- 丹有地区高等学校総合体育大会 バレーボール競技 優秀選手賞 下田芯太郎

ソフトボール部

- 丹有地区高等学校総合体育大会 ソフトボール競技 優秀選手賞 和田あかり・長澤伶海
- 丹有但馬地区高等学校夏季ソフトボール大会 優勝 最優秀選手 竹見桃香
- 令和5年度丹有但馬地区高等学校新人ソフトボール大会優勝 最優秀選手賞 宇杉心花

陸上競技部

- 丹有地区高等学校総合体育大会 陸上競技 男子3000m障害 第1位 中野晃輝
- 第78回丹有高校駅伝大会 男子 第1区 区間賞 藤木康綺 第3区 区間賞 中野晃輝 第5区 区間賞 下田芯太郎

硬式野球部

- 秋季兵庫県高等学校野球大会出場（秋季但丹地区代表）

かるた部

- 第18回全国競技かるた兵庫県大会 D級 優勝 吉田羽葵 E級 3位 和田真琴

その他

- 第69回青少年読書感想文全国コンクール 高等学校の部入選賞 西村和紗
- 税に関する高校生の作文 丹波地区租税教育推進協議会賞 久下莉杏奈 丹波地区租税教育推進協議会賞 中澤愛梨
- 第73回「社会を明るくする運動」高校生等エッセイコンテスト 兵庫県推進委員会佳作・丹波篠山市推進委員会会長賞 中澤愛梨
- 第1回HYOGOまちづくりアイデアコンテスト 論理性賞 本田りさ・樋口陽奈

令和5年度卒業生進路状況 (令和6年3月卒業)

進 路 種 別			男	女	計	合計
進 学 男 40 (69) 女 52 (57) 計 92(126)	4年制大学	国 立	2	2	4	67(87)
		公 立	3	3	6	
		私 立	26	31	57	
	短期大学	公 立	0	0	0	4(8)
		私 立	0	4	4	
	文部科学省所管外学校など		0	0	0	0(0)
	専修・各種学校	看護・医療	4	7	11	21(31)
一般		5	5	10		
就 職	公務員		2	0	2	5(4)
	民 間		1	2	3	
進学準備	進 学		2	0	2	2(8)
	公務員		0	0	0	
海外留学（準備）			0	0	0	0(3)
その他			0	1	1	1(0)
合 計			45 (79)	55 (62)	100 (141)	100 (141)

() 内は昨年度

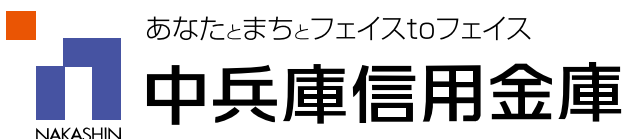
主な現役生合格大学 (合格者数)

【国公立大学】

大阪大(1) 大阪教育大(1) 和歌山大(1)
北見工業大(1) 国立大 計4名
大阪公立大(2) 兵庫県立大(1) 神戸市看護大(1)
高知工科大(1) 県立広島大(1) 公立大 計6名

【私立大学】

関西大(1) 関西学院大(8) 同志社大(5)
立命館大(3) 京都産業大(4) 近畿大(10)
甲南大(2) 龍谷大(7) 摂南大(3)
追手門学院大(6) 神戸学院大(4) 兵庫医科大(2)
関西外国語大(6) 大阪電気通信大(7)
大阪工業大(4) 大阪経済大(5) 大手前大(4)
大和大(2) 武庫川女子大(5) 神戸親和(4) 他
私立大 計117名



理事長 足立 厚郎

〒669-3693 兵庫県丹波市氷上町成松 226-1
〒669-1321 兵庫県三田市けやき台 1-4-3

代表 TEL(079) 569-7150

プロフェッショナルな撮影で 地域の皆様それぞれの歴史を語り継ぐお手伝いをさせていただきます

写真の創虹社

創虹社 検索

http://www.soukousha.net

お問い合わせ 079-590-2211

兵庫県丹波篠山市吹新 1-1

堀内剛二奨学金を給付

近成秀太さん、中野佑香さん



私はこの春、大阪大学基礎工学部に進学しました。将来は、多種多様な人が過ごしやすい社会をつくる仕事に就きたいと考えています。そのため、大学で基礎工学の知識を身につけ、科学と技術の融合による科学技術の根本的な開発に取り組んでいきたいと考えています。中でも、AIなどの情報工学の分野について研究したいと考えています。

また、大学在学中にさらに高い英語力、特にスピーキング力を身につけていきたいと考えています。グローバル化が進んだ社会において、英語力は海外の最先端の技術をいち早く取り入れられることにつながります。

最後に、大学生活を充実したものにするよう、勉強も怠らず今後も精進していきます。

近成秀太

私は4月に大阪教育大学教育学部教育協働学科理数情報専攻（自然科学コース）に進学しました。高校での学習を通して化学や生物分野に興味を持ったこと、また高校理科の教員免許を取得したいと思っていることがこの進路を選んだ理由です。

大学では高校より専門性の高い内容を学ぶことができます。そのなかで実験や研究に取り組み、幅広い知識を身につけていきたいです。

また、大学在学中には英会話の勉強をしたいと考えています。以前、外国の方に話しかけられた際、うまく返答することができなかったことが何度ありました。外国の方とも英語で楽しく話せるよう、自由な時間を利用して英会話の勉強に取り組みたいと思います。

4月からは一人暮らしが始まりました。不安も感じていましたが、人として成長できるいい機会でもあり、充実した日々を送っています。

最後になりましたが、これまで支えてくださった家族や先生方への感謝の気持ちを忘れずに、大学生活を過ごしていきたいと思います。

中野佑香

藤木千皓奨学金を給付

柴田環子さん



私は、高校3年間で様々な経験をさせていただき、その経験から多くのことを得ることができました。中でも、部活動や生徒会活動を通して様々な方と接する機会があり、改めてコミュニケーションの大切さ、難しさを実感することができました。加えて、インターアクト部でのボランティア活動で地域住民の方の地域に対する愛を深く知ることができました。

将来、人々に食生活の大切さを伝える管理栄養士になりたいと思っています。そのため大学では、基礎科目から実習、栄養のことを深く追求し学ぶのに加えて、様々な人に伝えるためのコミュニケーション力を身につけ伸ばしていきたいと考えています。そして、高校生の時と同様、ボランティア活動を積極的に行い、社会に貢献できる人材になれるよう精一杯取り組み、充実した大学生活にしたいと思います。

最後に、今までお世話になった家族や先生方、地域の方々への感謝を忘れずに一層精進を重ねていきたいと思っています。また、今度は私が地域の方々に、地域への愛を伝える側になりたいと思います。この度は奨学生に選んでいただき本当にありがとうございました。

柴田環子

この振込用紙は、丹波篠山市への「ふるさと応援寄付金」用です。

同窓会活動協力金の振込用紙は、別紙で同封していますので、お間違いのないようご注意ください。

（ご注意）

- ・ この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・ この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・ この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・ この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

篠山鳳鳴同窓会の皆様

応援よろしくお願いします!!

篠山鳳鳴高校同窓会の皆さんには、いつもふるさとのことをあたたかく想っていただきありがとうございます。また、丹波篠山市では同窓会の皆さんが、商工業、観光、農業、福祉、教育など様々な分野でリーダーとしてまちを担っていただいています。

同窓会の皆さんのご活躍のおかげで、今や丹波篠山市はブランドも高まり、美しい城下町、農業、自然や文化など魅力が高まり、人気のまちとなって、観光客や移住希望者も増えています。

この幸せ多きふるさと丹波篠山を、未来に、若い世代に引き継いでいかなければなりません。

皆さんからのふるさと納税は、これからもまちの魅力を高めたり、若い人を呼び戻したり、定着していただくような施策をすすめていくため、大切にに使わせていただきます。

また、来年には大阪・関西万博に合わせ、「丹波篠山国際博 日本の美しい農村、未来へ」を開催し、日本の農村の星をめざして取り組みを進めます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

同窓会の皆さんの益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

丹波篠山市長 酒井 隆明



こちらの郵便振り込み用紙をご利用ください

07	大阪	払込取扱票		公	払込料金 加入者負担	
口座記号番号				金額	千	百
0	1	1	3	0	6	9
加入者名				備考	十	万
丹波篠山市会計管理者					千	百
下記のとおり丹波篠山ふるさと基金に寄付したいので申し込みます。				使途（1から5のどれか一つに○をしてください）		
フリガナ				1. 豊かな自然環境の保全に関する事業		
氏名（団体名）				2. 農の都としての農業振興に関する事業		
(〒 -)				3. 伝統文化の保全や教育環境の充実等、文化・教育に関する事業		
住所				4. 日本遺産のまちの魅力発信に関する事業		
電話番号				5. その他（市長が使い道を決定します）		
()				氏名、住所（市町村名まで）、寄付額及び使途内訳の情報について、事業報告書などで公開してもよろしいですか？		
				はい		
				いいえ		
				丹波篠山ふるさと応援団に登録いただけますか？		
				はい		
				いいえ		
鳳鳴				日		
				附		
				印		

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号大第46887号）
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	1	1	3	0	6	払込料金 加入者負担
加入者名	丹波篠山市会計管理者						
金額	千	百	十	万	千	百	円
ご依頼人	おとところ (〒 -)						
	おなまえ						
	様						
	[この払込は、ふるさと納税です。]						
備考	日 附 印						

この受領証は、大切に保管してください。

丹波篠山 ふるさと応援寄付金について



令和5年度のご報告

多くのご協力と応援をありがとうございました。

昨年度の寄付金額合計 **307,207,377円**、寄付件数 **14,944件**

令和5年度、寄付は下記の事業に活用しました。(抜粋)

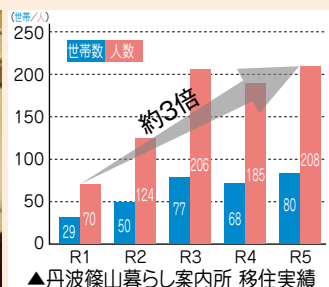
● 農の都としての農業振興に関する事業

ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう運動推進事業 (事業費：36,854,600円)

「丹波篠山暮らし案内所」を開設し、移住や空き家の相談を受け付けています。その取り組みの成果として移住者数は5年間で約3倍に増えました。



▲移住されたご家族



● その他、丹波篠山市の発展のために使わせていただいております。

● 伝統文化の保全や教育環境の充実等、文化・教育に関する事業

保健体育総務費 (事業費：8,613,745円)

プロサッカーチーム主催のスポーツ教室を開催するなど将来を担う子どもたちに「夢と希望」を与える取り組みをしています。



▲サッカー教室

令和6年度の取り組み

丹波篠山の魅力が詰まった農産品、工芸品、加工品等の返礼品のラインナップは800品を超えています。毎年、丹波篠山ブランドの特産品を一人でも多くの方に手にとってもらえるように魅力ある返礼品の充実を進めています。

食品や工芸品に限らず、丹波篠山にお越しいただき使うことができる丹波焼クーポンや人気施設の宿泊券、食事券、アクティビティ体験券などのバラエティ豊かな返礼品も揃えています。

今後も魅力的な返礼品を揃え、ふるさと納税を通じて丹波篠山の魅力を伝えていきます。



新たに返礼品に追加されたローストビーフや人気のチーズケーキ・丹波焼

丹波篠山市のふるさと納税の仕方

- 1、窓口：直接窓口(丹波篠山市役所 ブランド戦略課)で寄付
- 2、郵便振替：専用の払込用紙(本会報P14)で、最寄りのゆうちょ銀行から振り込み。入金確認後、返礼品申込書とカタログを送付。
- 3、インターネット：下記ふるさと納税ポータルサイトから寄付



ふるさとチョイス QRコード



楽天 QRコード



ふるなび QRコード



さとふる QRコード



ANA QRコード



マイナビ QRコード

関係人口 丹波篠山ふるさと応援団を募集しています！

丹波篠山ふるさと応援団は、人手不足などの課題を抱えながらも頑張る地域を応援したい方に登録していただける制度です。登録していただいた応援団員のみなさんへは地域とつながるきっかけや地域の情報を提供します。



応援団のご登録はこちらから

◀丹波篠山つながり案内所 QRコード

■問い合わせ先 **丹波篠山市役所 企画総務部 ブランド戦略課 ふるさと応援推進室**

TEL：079-552-0275/FAX:079-552-5665 メール：furusato_div@city.sasayama.hyogo.jp

■日 時：令和6年11月10日(日) 受付 午前11:00

■会 費：7,000円 ■会 場：ユニットピアささやま

丹波篠山市矢代231-1
TEL(079)552-5222

今年は高39回生(昭和62年卒業生)が担当して、楽しいイベントを開催します。

まずは申し込みを(9月30日締切) 同封のハガキで参加のお申し込みをお願いいたします。
お申し込みいただいた同窓会員様には、後日詳しいご案内を差し上げます。

「下町ロケット」講演会開催にご支援ください。

北海道にある社員31名の町工場「植松電機」。下町ロケットのモデルになった同社は、2004年からロケットの打ち上げ開発に取り組み、現在国内外の研究者が集まる宇宙開発の拠点になっています。夢を諦めず挑戦し続けることの大切さを伝え続ける植松努社長の講演会を、計画しています。

しかしながら、県立高校の予算では講演料が賄えないため、同窓生有志のご支援を募っています。皆様のご協力よろしくお願い致します。

振込先：三井住友銀行 篠山支店 普通預金 口座番号：3086709 受取人口座名：篠山鳳鳴同窓会 会長 中西 薫
振込期限：令和6年9月30日

お知らせ

令和6年度同窓会、クラス会予定

- 高26回 R6年 7月14日 卒業50年の集い
- 高27回 R6年 11月23日 卒業50年の集い
- 高47回 R7年 1月 2日 卒業30年の集い
- 高32回 R7年 1月 3日 卒業45年・復活の集い
- 高35回 R7年 1月 3日 3回目の成人式
- 高75回 R7年 1月11日 20歳のお祝い同窓会

場所は、いずれもユニットピアささやま

編集後記

コロナ禍を経て、昨年から「鳳鳴のつどい」をはじめ、多くの同窓会が各地で開催されるようになりました。久しぶりの再会に歓喜されている様子を拝見し、同窓会の良さ、つながりの大切さを再認識いたしました。

また、丹波篠山文化会議の皆様による母校での講義や、鳳鳴高校出身の作家の皆様による作品展示「アート de エール」といった活動にも大変魅力を感じているところです。

こうした交流がさらに活発になり、卒業生、現役学生、そして先生方や地域の皆様と共に2年後の創立150周年に向けて盛り上げていければと心から願っています。最後になりましたが、皆様のご健康とますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。 榊原謙介(高43回)

同窓会事務局からのお知らせ

活動協力金ご協賛のお願い

お一人
2,000円

会員の皆さんと同窓会を結ぶ会報は、この活動協力金によって発行されています。同窓会活動協力金のご協賛について、一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。同窓会活動協力金はお一人2,000円とし、同封振込用紙にて郵便局又は、コンビニ、スマートフォンアプリよりお願いいたします。なお、振込手数料は不要です。

令和5年度協力金(令和6年5月31日現在)

1,266件 2,764,553円(振込手数料除)

なお、ご協賛いただいた皆様のお名前を、次回発行の本紙に掲載する予定です。

会員の皆様からの多額の協力金に深く感謝申し上げます。引き続き今年度もご協力よろしくお願い申し上げます。

原稿募集

同封の「きすなはがき」、郵送、ファックス、ホームページ(<https://homei-doso.org>)などで、原稿をお寄せください。お名前、住所、卒業回生、連絡先をお忘れなくお願いいたします。

なお、紙面の都合上、掲載できない場合もございます。

同窓会事務局は下記の曜日・時間事務員が在室しています

月・水・金 AM10:00~12:00
PM 1:00~ 3:00

TEL/FAX 079-554-2533

〒669-2318 丹波篠山市大熊369
篠山鳳鳴同窓会事務局

みな様からのお便り
をお待ちしています!
留守の場合は留守番
電話に伝言をお願い
します。



パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村

ユニットピアささやま

- 宿泊 ○ アウトドアスポーツ
- グルメ ○ キャンプ&BBQ
- 研修 ○ 温泉



〒669-2356

兵庫県丹波篠山市矢代231-1

TEL 079-552-5222

<https://unitopia-sasayama.pgu.or.jp>



丹波と100年、この先も。

おかげ様で丹波新聞は創刊100周年を迎えることができました。地域の皆様に心より感謝申し上げます。これからも変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社 丹波新聞社 ■丹波篠山支局

丹波篠山市大沢2-6-3 TEL079-506-4338

週2回 日・木曜日発行 月極め購読料1,450円(税込)



購読申し込みQR